

編集後記

(57巻 第9号 2011年9月)

やっと新しい総理が選出された。「誰がなっても同じ」という冷めた見方もあったが、新総理の選挙演説はなかなか迫力のあるものだったと思う。失礼を承知で言うと、これまでの総理と違って見栄えが悪いのが良い。政治活動の実績や演説の内容からは、カミソリではなくナタのような重厚な切れ味を感じる。

今の日本は崖っぷちである。大震災や経済事情の悪化に隠れてはいるが、医療崩壊も着実に進行している。新政権に期待する国民は多いと思う。政策プライオリティーの設定を間違えずに、日本を正しい方向に導いてほしい。

(小川 修)